

平成 28 年 8 月 9 日

小野市議会議長 岡嶋 正昭 様

議会運営委員会
小林 千津子 ⑩

行政視察報告書

先般、実施致しました 議会運営委員会の視察結果について、下記のとおり報告いたします。

記

1 視察実施日 平成 28 年 7 月 25 日（月）～平成 28 年 7 月 26 日（火）

2 視察メンバー

岡嶋正昭 山中修己 高坂純子 小林千津子
川名善三 加島 淳

3 視察先及び調査内容

(1) 愛知県半田市 (人口： 約 11 万 9 千人 面積：47.42 k m²)

- ① 議会運営及び議会活性化の取り組みについて
- ② 新庁舎建設に伴う議会エリア等の整備状況について

(2) 滋賀県長浜市 (人口： 約 12 万 2 千人、面積：681.02 K m²)

- ① 議会運営及び議会活性化の取り組みについて
- ② 新庁舎建設に伴う議会エリア等の整備状況について

4 調査結果

【第1日】 7月25日 (月) 13:30~15:30

愛知県半田市 (人口: 約 11万9千人 面積: 47.42 k m²)

《視察項目》

- ① 議会運営及び議会活性化の取り組みについて
- ② 新庁舎建設に伴う議会エリア等の整備状況について

《視察内容》

- ① 議会運営及び議会活性化の取り組みについて

各常任委員会での調査テーマを設定した調査研究

閉会中の調査事項を各委員会で決め調査

28年度 実施項目

総務	シティプロモーションの推進について
文教厚生	子どもの貧困対策について
建設産業	将来を見据えた公営住宅の有り方について
議会運営	議会運営について

事業評価

スケジュール

- 評価する個別施策 (各常任委員会からのテーマ)
個別施策の実現に向けて順調か
構成する事務事業は個別施策を実現するために有効か
施策の今後の方向
- 議長へ審査結果報告
- 議員総会で確認
- 市長への評価結果の通知
- 予算編成への反映状況について報告
- 市議会だより議会ホームページによる公表

議員勉強会

27年度議員勉強会

テーマ

- ① 空き家対策特別措置法について
- ② キャリア教育の在り方について
- ③ ふるさと納税について
- ④ 地域経済振興と自立した循環型地域経済

- ⑤ 半田の地域公共交通を生まれ変わらせるために何が必要か
- ⑥ 地方創生について
- ⑦ 生活困窮者自立支援制度について

議会活動費として

講師を依頼 1回 2万5千円+交通費

議会報告会

年2~3回 定例会報告 意見交換

②新庁舎建設に伴う議会エリア等の整備状況について

新庁舎の概要について

- ・敷地面積 13,165.90 m²
- ・延べ面積 15,181.03 m²
- ・構造規模 鉄骨造一部鉄骨鉄筋コンクリート造
(地上5階 塔屋1階)
- ・総額(設計 本体工事 外構工事 備品購入費 引っ越し費用全て含む)
約64億4,920万円
- ・計画コンセプト 「半田の歴史や文化を継承し、市民の命を守る新庁舎」
- ・現在の蔵と位置づけ環境にやさしい庁舎
- ・醸造蔵と調和する黒系の外壁を基調色としている

新庁舎の特徴

議会機能について

- ・議長席と傍聴席を相対する形で配慮
- ・執行部席と議員席が演台を挟んで対面する方式を、議会側の要望により採用
- ・本会議の状況は、議会会議室、全員協議会室、委員会室のスクリーンで視聴が可能
- ・市民に開かれた議会として、議場と傍聴席の前室としての「傍聴ロビー」を設置。ロビーに隣接して談話室2つを設置、気楽に議員と市民が談話できるスペースを確保。
議員の登退庁状況が、市役所を訪れた市民に分かるように1階及び傍聴ロビーに議員登退庁表示モニターを設置

《所 感》

市内の運河、黒板塀の醸造蔵、歴史を感じる美しい街並みに驚きました。木曾三川や矢作川の伏流水で、古くから醸造業が盛んでミツカン酢の本社もある。平成 28 年 3 月竣工と言う庁舎に又圧倒された。議会運営については議員の意見を聞きテーマを決め年に 6 回講師を呼び、勉強会を持たれるということに関心をもちました。私達もなにかの形で実行できればと考えます。

政務活動費については、何かの事情で 19 年度に廃止になり 9 年間支払われず 28 年度から反対意見もあったが支給を決め、不正防止のためチェックを厳しく又、後払い制にしているとのことでした。

新庁舎については平成 16 年度に特別委員会を設置され、23 年 8 月に市長に要望書を提出。議場は英国式とのことでした。会派室は仕切り板があり会派の人数に対応できるように取り外しが出来るとのことでした。

インターネットの配信を始めましたとのことでしたが、当市はすでに始めていますし、議員には各 1 台のパソコンもあり恵まれていると考えます。

【第 2 日】 7 月 26 日 (火) 13:30~15:30

滋賀県長浜市 (人口: 約 12 万 2 千人、面積: 681.02 km²)

《視察項目》

- ① 議会運営及び議会活性化の取り組みについて
- ② 新庁舎建設に伴う議会エリア等の整備状況について

《視察内容》

① 議会運営及び議会活性化の取り組みについて

長浜市議会では平成 25 年度に議会の使命を達成するため「議会基本条例」を制定され、平成 26 年度に信頼され開かれた議会を目指し、議会の活性化に関する検討について協議及び提言等を行う「議会活性化検討委員会」を設置

内容

- 全員協議会の内容充実
- 予算決算常任委員会の設置検討
- 議会運営委員会の充実

1. 議会の権威を侮辱する様な公報等掲載の禁止措置の検討
 2. 委員会録画中継システムの実施
 3. 会議録検索システムの実施・当局の答弁のその後の対応策追跡
 4. 質問提出内容の検討充実
 5. 議会終了後の評価会の実施
 6. 一般質問の在り方等再確認
 7. 嘆願等の締め切り期限と審議・検討時間についての検討
- 公報公聴委員会の設置
市民の多様な意見を把握—民意の市政への反映
 - 開かれた議会、公平、公正、透明な議会運営について検討

新庁舎議会施設機能について

議場 対面式 60インチモニター左右4か所 中継用カメラ3台設置

傍聴席 64席 車椅子スペース 専用受信機10セット

《所 感》

市民により開かれた議会を目指し議会活性化委員会を設置されたとの話でした。議会運営委員会で検討されている内容については、私共でも議員協議会を持ったり、会派で話しあったりして議員としての資質の向上に努めていることでした。長浜市は約681k㎡と大変広く市民との意見交換会も年に2度開催するが、浸透させるのがたいへんだと話されました。

新庁舎については災害に強い安全安心のシンボルとなることとし、市内の状況を見渡すことができる防災棟がそびえていました。



半田市役所玄関にて



長浜市役所議場にて

平成 28 年 8 月 8 日

小野市議会議長 岡嶋正昭 様

議会運営委員会

加島 淳



行政視察報告書

先般、実施しました 議会運営委員会 行政視察の結果について、下記のとおり報告いたします。

記

1 視察実施日 平成 28 年 7 月 25 日（月）～平成 28 年 7 月 26 日（火）

2 視察メンバー

小林千津子

加島淳

高坂純子

山中修己

川名善三

岡嶋正昭

3 視察先及び調査内容

(1) 愛知県半田市（人口：約 11 万 9 千人、面積：47.42K m²）

議会運営及び議会活性化の取組について

新庁舎建設に伴う議会エリア等の整備状況について

(2) 滋賀県長浜市（人口：約 12 万 2 千人、面積：681.02K m²）

議会運営及び議会活性化の取組について

新庁舎建設に伴う議会エリア等の整備状況について

4 調査結果

【第1日】

愛知県半田市（人口：約11万9千人、面積：47.42K㎡）



(市役所案内図)



(正面)



(前庭)

《視察項目》

議会運営及び議会活性化の取組について

新庁舎建設に伴う議会エリア等の整備状況について

《視察内容》

1 議会運営及び議会活性化の取組について

- 各常任委員会での調査・研究
- 事業評価
- 議員勉強会
- タブレット端末の議場内での使用について
- 議会報告会

2 新庁舎建設に伴う議会エリア等の整備状況について

- 議場、委員会室、会派控室、傍聴席
- モニター、音響、議会設備等
- 新庁舎建設にかかる経緯について

《所感》

半田市の議員数は22人で、5つの会派がある。最大会派は「創造みらい半田」の13名。無所属議員は1名。全議員の平均年齢は53.2歳である。

常任委員会は総務、文教厚生、建設産業の3つからなり、委員数はそれぞれ8人、7人、7人である。議会運営委員会の定数は9人であるが現員数は7人、選

出方法は所属議員 3 人以上の会派から 3 名ごとに 1 名選出するとしている。また特別委員会の設置は、新総合体育館調査特別委員会 10 人、評価システム調査特別委員会 10 人（平成 28 年 7 月 1 日設置）である。

各常任委員会での閉会中の調査は年度ごとに主なテーマを決め実施されている。平成 28 年度のテーマは、シティプロモーションについて（総務）子どもの貧困対策について（文教厚生）将来を見据えた公営住宅のあり方について（建設産業）議会運営について（議会運営）。

事業評価のスケジュールは、8 月上旬に当局から事務事業評価表の提出を受け、評価対象個別施策の選定・実施の通知を行う。議長は個別施策について議員全員に周知する。また、議長から市長へ通知を行う。

8 月下旬~10 月上旬に常任委員会ごとに審査し評価決定する。10 月上旬に議長へ審査結果報告。議員総会で審査結果について確認ののち市長へ通知。

市長から予算編成への反映状況について報告を受け、2 月の市議会だよりへ掲載し、議会ホームページにも公表する。

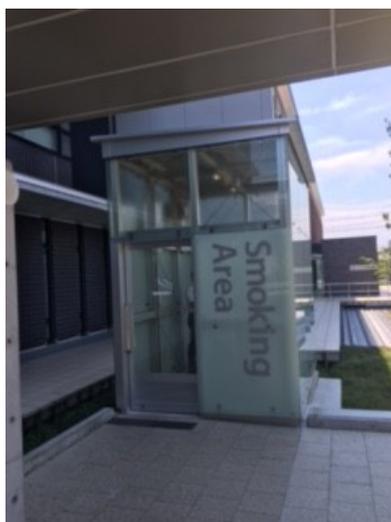
議員勉強会はテーマを決め講師を招いて、年 6~7 回開催されている。

ICT 機器の活用について、本会議で質問を補完するデータ、写真など。データの提出期限は質問前日の正午まで。議長の許可を得て使用可。

議会報告会は年 3 回程度、今年度のテーマは「政務活動費」「定例会報告」等である。参加人数は多いときには 100 名あまり、最近の 2 回は 15 名程度。



(1 階ロビー)



(スモーキングエリア)

半田市新庁舎は 28 年 1 月オープン。

- ・敷地面積：13,165 m²
- ・延床面積：15,181 m²

- ・ 建造規模：鉄骨造一部鉄骨鉄筋コンクリート造（地上 5 階）
- ・ 総額：約 64 億 4,920 万円（設計、本体工事、外構工事、備品購入費、引っ越し費用すべて含む）
- ・ 建設計画コンセプトは「半田の歴史や文化を継承し、市民の命を守る新庁舎。」
- ・ 「現代の蔵」と位置付け、「みどりの運河」「市民広場」を整備。セキュリティに配慮し、環境にやさしい庁舎としている。
- ・ 醸造蔵と調和する黒系の外壁を基調色としている。

新庁舎の防災機能について

- ・ 地盤を 2.5mかさあげし、1 階床レベルを想定される最大の津波の高さに対応している。
- ・ 防災拠点機能として、4 階の市長室周辺に防災交通課及び災害対策室を設置。
- ・ 新庁舎建設検討中に東日本大震災を受け、建設規模、期間、財源の見直し。
- ・ 高潮・津波などにより浸水した場合にも機能が維持できるように、エレベーター制御盤を上階に設置。
- ・ 屋上にヘリコプター緊急救助スペースを設置。
- ・ 屋外灯災害用トイレを設置できるよう排水貯留槽を設置。
- ・ 断水時には、水が使用できるように耐震性貯水槽を設置。
- ・ 執務室は窓に面して配置。自然採光、自然通風を確保。
- ・ 1 階エントランスホールに面してレストランを配置し、非常時には炊き出しが行えるように計画。

市民サービスについて

- ・ 総合窓口案内を担う担当課は設置しない。
- ・ 1 階に窓口課を集約（ワンストップサービス）
- ・ 2 階に子供関連の課を集約

市民交流について

- ・ 別に市民交流センターがあり、別機能となっている。
- ・ 1 階エントランス近くに、市民情報コーナー、防災啓発コーナー、名産品コーナーを設置。またパンフレットや広報誌など、紙ベースでの情報発信、防災グッズなどの実物を展示している。

議会機能について

- ・ 議長席と傍聴席を相対する形で配慮。
- ・ 執行部席と議員席が演台を挟んで対面する方式を議会側の要望により採用。
- ・ 本会議の状況は、議会会議室、全員協議会室、委員会室のスクリーン及び庁

舎内のテレビで視聴が可能。

- ・市民に開かれた議会として、議場と傍聴席の前室として「傍聴ロビー」を設置。ロビーに隣接して談話室2つを設置することにより、気軽に議員と市民の方が談話できるスペースを確保した。また議員の登退庁状況が市役所を訪れた市民に分かるよう、1階と傍聴ロビーにモニターを設置。
- ・傍聴席は70席。記者席、車いす席、同補助者席を含め76席。

環境配慮について

- ・LED照明、自然採光、自然通風、女子トイレ内の擬音設備、高効率機器の採用。
- ・太陽光発電パネルの設置。
- ・免震ピットを利用し、外気を取り入れる。地中熱の利用、雨水の再利用。

市民の評価と課題について

- ・出先機関に分散していた部局が新庁舎に一元化され便利。
- ・窓口がわかりやすい。
- ・庁舎が広く全体が明るい雰囲気で気持ちが良い。
- ・カウンターから職員までの距離が遠くなり、以前よりも声をかけづらい。
- ・駐車場の利用がしづらくなった。



(議場は対面式)

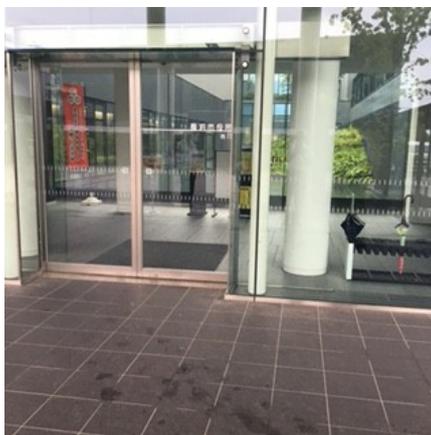
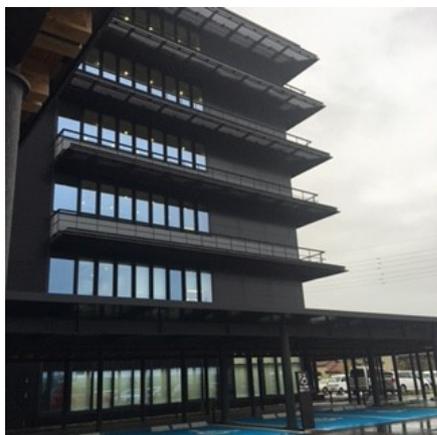


(タブレット利用可能モニターの設置)



【第2日】

滋賀県長浜市（人口：約12万2千人、面積：681.02K㎡）



《視察項目》

議会運営及び議会活性化の取組について

新庁舎建設に伴う議会エリア等の整備状況について

《視察内容》

- 議会活性化検討委員会の活動
- 議場電子採決システム設置・運用
- 声の市議会だより
- 市民の皆さんとの意見交換会
- 新庁舎議会施設機能について

《所感》

- 議会活性化委員会の活動

長浜市では平成26年10月1日より、議会活性化検討委員会を設置し議会の活性化に取り組んでいる。最近の主な取り組みは、平成27年9月から広報広聴委員会を設置し、議会だより編集委員会と意見交換会作業部会を統合し、さらに広報広聴機能の充実を図っている。平成28年9月定例会から予算常任委員会

を設置し、予算常任委員会で議案を審査している。

ICT化の推進として28年度から検討チームによる調査・研究を踏まえ議会運営委員会で、ペーパーレス化・議場へのタブレット導入を検討している。また、災害時における議会運営の在り方や機能維持について本年度中にBCP（事業継続計画）を策定する。

○声の市議会だより

障害者総合支援法・地域生活支援事業に基づき、広報誌の点訳・音訳を市内ボランティアグループの協力の下実施し、対象者に届けている。

市議会だよりは平成28年1月15日号から実施している。

○市民の皆さんとの意見交換会

平成25年1月より実施し、年2回開催されている。長浜市の面積は681km²と広く、参加人数は地域によりばらつきがあり、多い所で60人少ないところは15人程度。また女性の参加者が少ないのも課題としている。参加者を募る声かけは自治会長・地域づくり協議会などすべてのチャンネルを使い、議員が進めているが、議員が選出されていない地域もあり関心を引くのは難しい。目標は1会場45名程度の参加者をとっている。

内容は3部制で、1部は当初予算または決算・各常任委員会報告、2部はそれぞれの地域に合ったテーマでの意見交換会、3部は自由な意見交換会。

意見としては鳥獣対策や空き家対策をはじめ要望が多く、議運で取りまとめ当局に確認し、市のホームページで回答している。

議員26人を2つのグループに分け対応しているとのこと。

○新庁舎議会施設機能について

長浜市役所新庁舎

敷地面積：26,196 m²

建築面積：5,160 m²

延床面積：18,694 m²

高さ：44.9m（防災塔）

東館：鉄骨造6階建、制震構造

西館：鉄骨造6階建、制震構造

駐車台数：来庁者用駐車場 205台

車いす用駐車場 8台（屋根付）

おもいやり駐車場 4台（屋根付）

設計コンセプト

- 「まちの中心として、市民が親しみやすい庁舎」
- 「東別館を活用して再生する庁舎」
- 「災害に強い、市民の安全・安心のシンボルとなる庁舎」
- 「環境にやさしい庁舎」

議会施設



○議場

- ・形状：対面式
- ・議長席
- ・局長席
- ・執行部席：20席



- ・事務局席：4席（執行部右側最後列）
 - ・議会放送システム・残時間システム設置
- ・議員座席：26席（扇状に3列）



- ・傍聴席：64席（内サイドテーブル付き16席）
- ・報道記者用：4席（カメラスペース有）



- ・車いすスペース、傍聴席出入り口に車いす昇降器を設置



- ・ヒアリングループ（磁気ループ）補聴システムを、傍聴席スペース床に設置
- ・専用受信機（補聴器タイプ・ヘッドホンタイプ）を無料貸し出し10セット



- ・ 60 インチモニター設置：左右 4 か所
（議会中継映像・議員出席数・質問残時間・電子採決結果表示）
- ・ 中継カメラ 3 台設置
（ケーブルテレビ及びインターネットで生中継、ホームページに録画中継を掲載）



- ・ 各席にマイク設置、議長席・議員席に電子採決ボタン配置
- ・ 議長席・事務局席・登壇席・質問席に残時間表示モニター設置

○委員会室

- ・ 委員会室 1・2

主に、議会運営委員会、常任委員会、全員協議会に使用

通常は、2室を1室として使用し、委員会同時開催時にはパーティションで2室に分けて使用する。



- ・委員会室 3

主に、会派代表者会議、視察対応に使用。常任委員会時に当局職員の控室に使用。個室設定のみ

- ・会議運営設備

赤外線方式の会議マイクユニットを各席に設置。会議音声を傍聴しやすいように、天井スピーカーを設置。各委員会室に 2 台のカメラ設置し、録画及びインターネット配信、室内の 52 型液晶ディスプレイに表示。インターネット配信時には、テロップ文字を合成して配信することが可能。

各委員会室に、議事録作成用に SD レコーダー 2 台に録音と、ブルーレイに録画が可能。マイク操作、カメラ映像の切り替え及び配信操作、音量調整が行えるタッチパネル操作ワゴンを設置。操作ワゴンに、PC や外部機器の映像を表示できる端子を設置。

- 正副議長室

- 議員図書室

- 会派室

7 室 (2~3 人用 : 3 室 4~6 人用 : 2 室 7 人以上 : 2 室) パーテーションで区切られており、壁の移動可能。

- 会議室等

- ・議員控室 2 室 応接室 2 室

- ・議会事務局

- ・ミーティングルーム

平成28年 8月 3日

小野市議会議長 岡嶋 正昭様

議会運営委員会
山中 修己 ⑩

行政視察報告書

先般、実施しました議会運営委員会行政視察の結果について、下記のとおり報告いたします。

記

1 視察実施日 平成28年 7月25日(月)～平成28年 7月26日(火)

2 視察メンバー

小林千津子委員長、加島淳副委員長、高坂純子議員、川名善三議員、岡嶋正昭議長、山中修己 以上6名
随行:岸本浩幸局長

3 視察先及び調査内容

- (1) 愛知県半田市 (人口:約11万9千人、面積:47.42K㎡)
 - ①議会運営と議会活性化の取組について
 - ②新庁舎建設に伴う議会エリア等の整備状況について
- (2) 滋賀県長浜市 (人口:約12万2千人、面積:681.02K㎡)
 - ①議会運営と議会活性化の取組について
 - ②新庁舎建設に伴う議会エリア等の整備状況について

4 調査結果

【第1日】

愛知県半田市

人口：約12万2千人、面積：681.02Km²

≪視察項目≫

- ①議会運営と議会活性化の取組について
- ②新庁舎建設に伴う議会エリア等の整備状況について

≪視察内容≫

面接者：議会事務局議事課課長 山本兼弘氏

市議会議長 澤田勝氏、副議長 久世孝宏氏、議員 石川英之氏

新幹線名古屋駅から大府で乗り換え、約1時間でJR半田駅に着いた。徒歩で約5分の道のりは、夏本番にもかかわらず、程よい風があり涼しく感じられた。市役所までのミツカンの黒壁沿いの道は、広い歩道とも相まってすっきりしており、好感がもてた。

本題について、箇条書きで記す。

①議会運営と議会活性化の取組について

- 議会構成は22名、無所属1名を含め5会派。
- 委員会は議会運営委員会、総務委員会、文教厚生委員会、建設産業委員会とあり、其々の委員会で年度テーマを決め、3月定例会や5月臨時会において議場で報告している。
- H24年から常任委員会毎に事業評価を行い、市当局へ提言を行っている。(個別評価シートに記入して提言)これは議員間討議で行っている。
- 議員勉強会は講師(25,000円+交通費)を招き、年数回常任委員会がテーマを決め、開催している。
- インターネット配信は録画配信している。コストの関係とのこと。
- 議会報告会は基本条例に基づき実施している。進行、会場設営等全て議員が行っている。当初厳しい意見が多かったが、最近はなくなった。
- 政務活動費はH18年に問題発生し廃止になったが(22.5万円/年)、粘り強く要求し、H28年から年15万円であることになった。但し、管理委員会を設け、後払い等使い方は厳しく管理している。



②新庁舎建設に伴う議会エリア等の整備状況について



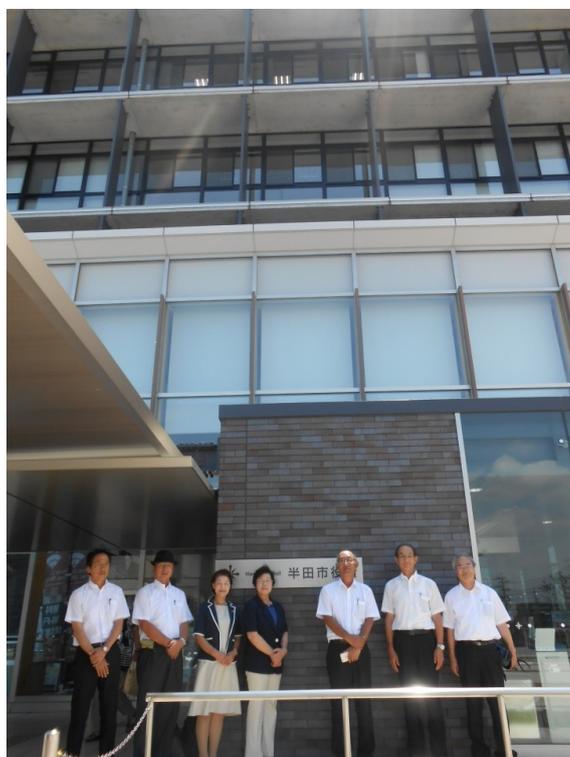
○ 庁舎は平成26年12月に完成した。総工費約64億円。延べ面積約15,000㎡、地上5階鉄骨造一部鉄骨鉄筋コンクリート造り。
…新庁舎建設検討中に東日本大震災があり、建設規模、期間、財源等について見直し、相当期間要している。因みに検討はH16年から実施され、市議会新庁舎建設特別委員会はH16～17年に設置されている。

- 地盤を2.5mかさ上げし、想定されている最大の津波の高さを1階床レベルにおいている。最悪1階は浸かってもよい?とっておられた。
- 議場は議長の左右に当局側と議員側が対面式となっており、議長の正面に傍聴席があり、傍聴席からは全体が見渡せる形になっている。(英国式)
…手話等については特に要望はなく、配慮していない。
- 会派室は5つあり、無所属の1人議員も部屋はあるが、会派が増えると立ち退きしてもらおうとのこと。因みにパソコンは会派に1台のみ。

《所感》

冒頭にも書いたが、JR半田駅を降りて市役所までの通りは、電線の地中化、広幅の市道、黒壁のミツカンの工場、運河、黒をベースにした市庁舎が上手く調和した、非常にしっくりとした街並みを演出していた。

議会活性化については、各常任委員会毎にテーマを決め、調査、報告している点と、各常任委員会で事業評価をし、議員間で協議をし、当局へ提言に結びつけているところ



は見習うべきと感じた。

議会は英国式の対面方式となっており、議員、当局、傍聴者の3者が一番見易いのではないかと感じた。ただ、議長席から回答者、答弁者が見難いようだったので、少し位置を上げる方がより良いだろう。

非常にスッキリとしたいい印象を与えていただいた市の一つである。

【第2日】

滋賀県長浜市

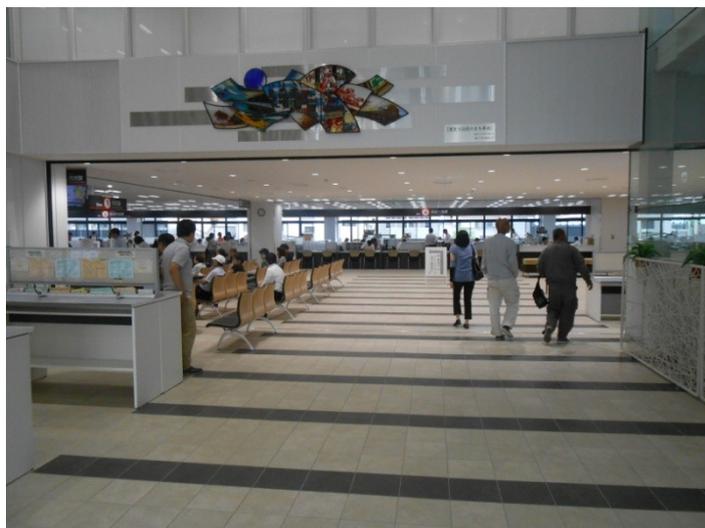
人口：約12万2千人、面積：681.02Km²

《視察項目》

- ①議会運営と議会活性化の取組について
- ②新庁舎建設に伴う議会エリア等の整備状況について

《視察内容》

面接者： 議会事務局次長 細川顕氏、事務局副参事 岩崎公和氏
市議会副議長 藤井議員、議会運営委員長 轟保幸議員



朝から降りだした雨はいよいよ本降りになり、昼前長浜駅に着いたときには、土砂降りになった。食事を済ませ、長浜自慢の「黒壁」を視察までの間、散策しようと思ったが、食事処で足止めをくってしまった。また、食事処まで、市役所の方に迎えにきていただくご足労を煩わせてしまった。

今回のテーマ内容について下記に箇条書きする。

①議会運営と議会活性化の取組について

- 議会構成は26名、6会派。
- 広報広聴委員会…議会基本条例により、市民との意見交換会を実施している。市長は「ざぶとん会議」と称して、月に2回程度各町に出向いて、意見聴取を行っている。
- 予算委員会の設置…従来、個別の常任委員会で実施しており、これは法律違反のため、議員全員の予算常任委員会を設置し、今年度から実施するとのことであった。

- ICT化の推進…ICT化推進検討委員会で調査・研究し、議会運営委員会で検討する。今年度から継続策定予定。
- BCP(事業継続計画)の策定…災害時における議会運営の在り方や機能の維持についての計画を策定する。今年度中に策定予定。
- 質問の仕方をパターン化している。…自説とか他市の例をあげるのはよいが、焦点がぼやけるのを防ぐ意味あいでは実施している。
- 定例会終了毎に議会運営委員会で反省会を実施している。

②新庁舎建設に伴う議会エリア等の整備状況について

- 新庁舎平成26年12月完成。7階建て、総床面積18,694㎡、駐車場205台、総工費は約50億円だが、震災前に契約したものであり、今だと70億円位の工事になる。
- 議場は最上階の6階(7階は機械室等)、傍聴席も含め、非常に広いスペースが印象的。電子投票設備、出退表示、残時間表示あり。傍聴席の外にユーティリティスペースが設けてある。…手話等については特に要望はないが、庁内で訓練の講座を設けている。
- 委員会室は全員協議会が可能になっており、議場も含め、多目的に利用可能なものとして設置されている。

《所感》

長浜の市庁舎も黒を基調にしたシックな作りであった。吹き抜け、琵琶湖を模したプールなどを庁舎内に設け、市民が親しみやすい雰囲気演出されていると感じた。

合併で700㎡の面積があり、議会活動の面でも苦勞されているようであった。議会活性化の点では今年度から着手の項目が多く、具体的なことが聴けなかったのは残念であった。定例会毎に議会運営委員会で反省会をされているのは見習うべきであると感じた。



平成28年8月8日

小野市議会議長 岡嶋正昭 様

議会運営委員会
川名善三 印

行政視察報告書

先般、実施しました 議会運営委員会 行政視察の結果について、下記のとおり報告いたします。

記

1 視察実施日 平成28年7月25日（月）～平成28年7月26日（火）

2 視察メンバー

・小林千津子・加島淳・岡嶋正昭・高坂純子・山中修己

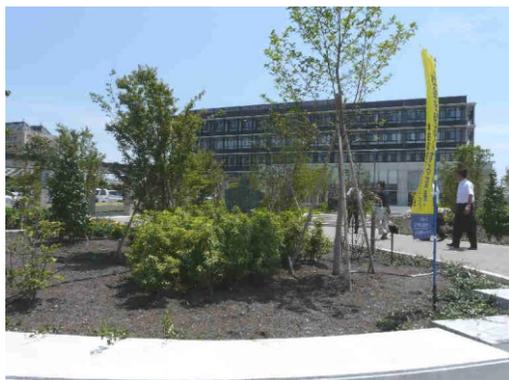
3 視察先及び調査内容

(1) 愛知県半田市（人口：約11万9千人、面積：47.42Km²）

- ①議会運営及び議会活性化の取組みについて
- ②新庁舎建設に伴う議会エリア等の整備状況について

(2) 滋賀県長浜市（人口：約12万2千人、面積：681.02Km²）

- ①議会運営及び議会活性化の取組みについて
- ②新庁舎建設に伴う議会エリア等の整備状況について



〔半田市役所（H26年12月完成）〕



〔長浜市役所（H26年4月完成）〕

4 調査結果

【第1日】

愛知県半田市

人口：約11万9千人、面積：47.42Km²

≪視察項目≫

- ①議会運営及び議会活性化の取組みについて
- ②新庁舎建設に伴う議会エリア等の整備状況について



≪視察内容≫

(1) 議会運営及び議会活性化の取組みについて

- ◎各常任委員会での調査・研究
 - ・役職改選後の委員会にてテーマ・行き先等を決め、勉強会・検討会を経て委員長報告する。常任委員会は2泊3日、議運1泊2日
- ◎事業評価
 - ・各常任委員会にて分科会を設置、市の総合計画に対して検討、議会として報告
 - ・決算審査は各常任委員会へ分割付託
- ◎議員勉強会
 - ・政務活動費を平成19年に廃止したことから、議員資質向上のため、大学教授等を招いての勉強会を年6回程度実施していたが、今年度から政務活動費が復活し、年2回となる。
- ◎タブレット端末（ICT機器）の議場等での使用
 - ・平成25年5月より試行、翌年より本運用
 - ・掲示できるのは、質問を補完するデータ、写真
 - ・議員及び執行部は本会議や委員会等へのパソコン（機械式キーボード以外）の持ち込み可
- ◎議会報告会
 - ・原則各定例会後に開催
 - ・主に議会での審査、予算・決算の報告及び意見交換会として実施
 - ・運営は議員で行う。

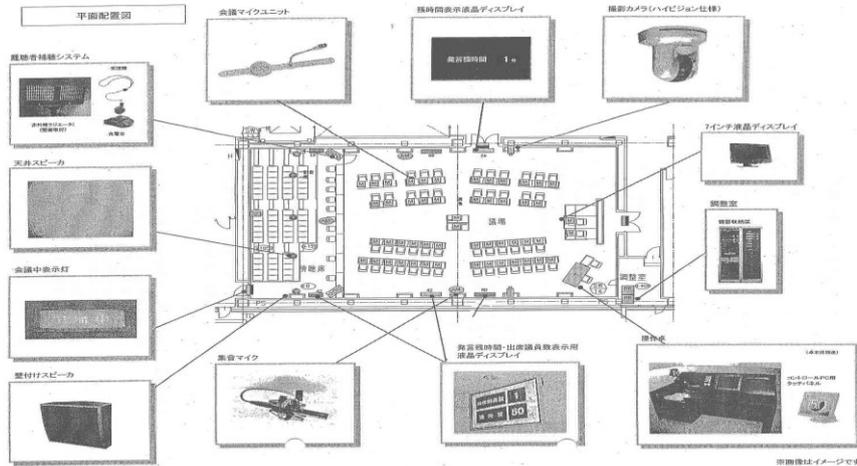
(2) 新庁舎建設に伴う議会エリア等の整備状況について

- ①新庁舎の概要について
 - ・敷地面積 13,165.90m²
 - ・延べ面積 15,181.03m²

 - ・構造規模 鉄骨造一部鉄骨鉄筋コンクリート造（地上5階塔屋1階・免震構造）
 - ・総工費 約64億5千万円
- ②議会機能について
 - ・議場は議長席と傍聴席を相対
 - ・執行部席と議員席は演台を挟む対面式を採用

- ・傍聴席は約70席（難聴者補聴システム、バリアフリー）
- ・市民と議員との交流スペースとして「傍聴ロビー」、談話室の設置
- ・会派室は7室（大1・小6）で、可動壁となっており、人数により調整可能

議場 映像・音響設備



各階案内図

階数	課名
5階	議事課
4階	秘書課 人事課 企画課 防災交通課
3階	建築課 土木課 都市計画課 市街地整備課 総務課 財政課 観光課 経済課 環境課 市民協働課 監査委員事務局
2階	学校教育課 子育て支援課 幼児保育課 スポーツ課 税務課 生活保護課 下水道課 上水道課
1階	市民課 会計課 地域福祉課 高齢介護課 国保年金課 収納課

施設概要

- 敷地面積 13,165.90㎡
- 延べ面積 15,181.03㎡
- 構造規模 鉄骨造一部鉄骨鉄筋コンクリート造
地上5階塔屋1階
- 工期 平成25年8月～平成26年12月
- 費用 建設工事費 51億5,231万5,080円



[議長と議員が相対しない対面式の議場]



[大型ディスプレイ]



[傍聴席]

【第2日】

滋賀県長浜市

人口：約12万2千人、面積：681.02Km²

≪視察項目≫

- ①議会運営及び議会活性化の取組みについて
- ②新庁舎建設に伴う議会エリア等の整備状況について

≪視察内容≫

(1) 議会運営及び議会活性化の取組みについて

◎議会活性化検討委員会の活動

- ・長浜市議会活性化検討委員会設置要綱（平成26年10月制定）に基づき、短期検討内容及び中期検討内容に分類し議会改革に関する答申を2回に渡り行う。
- ・広報広聴委員会の設置
議会だより編集委員会と意見交換会作業部会を統合し広報広聴機能を充実
- ・予算常任委員会の設置
これまで各常任委員会に分割付託に審査を行っていたが、全議員で構成する予算常任委員会を設置
- ・ICT化の推進（平成28年度から継続して検討）
- ・BCP（事業継続計画）の策定（平成28年度中に策定）
災害時における議会のあり方や機能の維持についての計画の策定
（元全国議長会事務局調査広報部長）

◎議場電子採決システムの設置・運用

議場での採決に机上のスイッチ（押しボタン）により採決を行っている。

◎声の市議会だより

市内ボランティアグループの協力により議会だよりを録音し配布（20人）

(2) 新庁舎建設に伴う議会エリア等の整備状況について

①新庁舎の概要について

- ・敷地面積 26,196m²
- ・延べ面積 18,694m²
- ・構造規模 一部鉄骨鉄筋コンクリート造（地上7階塔屋3階・制振構造）
- ・既存の東別館を全面改修し西館として再生利用

②議会機能について

- ・議場は通常の対面式
- ・傍聴席64席（磁気ループ補聴システム、バリアフリー）
- ・60インチモニター4か所
- ・各席に電子採決ボタン配置
- ・会派室7室（2～3人用3室・4～6人用2室・7人以上2室）
- ・議場後方に展望ロビーを設置





〔議 場〕

〔大型ディスプレイ〕

議案第50号		採決結果	
議員氏名	議員氏名	議員氏名	
1 佐金利幸議員	16 飯本幸光議員		
2 中川清議員	17 高橋繁議員		
3 山崎正直議員	18 竹本直樹議員		
4 草野尊議員	19 柴田清行議員		
5 中川昭彦議員	20 竹内達夫議員		
6 矢守昭男議員	21 泉沼明男議員		
7 轟保幸議員	22 堤寛信次議員		
8 西島幸幸議員	23 東久雄議員		
9 浅見藤也議員	24 鎌山紀子議員		
10 松本長治議員	25 西尾孝之議員		
11 吉田善人議員	26 神谷興茂議員		
12 石田篤子議員			
13 吉田康議員			
14 中島康雄議員			
15 朝田光男議員			
		出席議員数	5人
		賛成	5人
		賛成	4人
		反対	1人

〔電子採決の表示〕



〔車椅子昇降機〕



〔傍聴席〕



〔会派室〕



〔展望ロビー〕



〔磁気ループ補聴システム〕

《所 感》

今回視察した両市においては、議会基本条例の制定により、一問一答方式の採用や議会報告会（意見交換会）などが行われており、近年の議会改革の流れが取入れられている。議場の構造（対面方式）においては、それぞれ異なる方式が採用されているが、各々一長一短があることから、意見の分かれるところである。半田市でのタブレット等を活用した議会質問や長浜市での電子採決など、ICT化の進展は今後も進むと思われる。今回は両市とも新庁舎建設にとまない、議会構造も最新の設備が取入れられており、その設備の充実により一層の議会ICT化の進展が図られている。また、開かれた議会として、バリアフリー化の徹底や議会ロビーの設置により、誰もが立ち寄れる議会を目指している点も共通している。また、両市とも各会派室が整備されており、今後の小野市においける新庁舎のあり方について大いに参考になった。

平成 28 年 8 月 8 日

小野市議会議長 岡嶋 正昭 様

議会運営委員会

高坂 純子 ⑩

行政視察報告書

先般、実施しました議会運営委員会行政視察の結果について、下記のとおり報告いたします。

記

1 視察実施日

平成 28 年 7 月 25 日（月）～平成 28 年 7 月 26 日（火）

2 視察メンバー

委員長・小林千津子 副委員長・加島淳・議長・岡嶋正昭
委員・山中修己・川名善三・高坂純子

3 視察先及び調査内容

(1) 愛知県半田市（人口：約 1 1 万 9 千人、面積：47.42K m²）

「議会運営及び議会活性化の取り組み」について

「新庁舎建設に伴う議会エリア等の整備状況」について

(2) 滋賀県長浜市（人口：1 2 万 2 千人、面積 681.02K m²）

「議会運営及び議会活性化への取り組み」について

「新庁舎建設に伴う議会エリア等の整備状況」について

4 視察内容

(1) 愛知県半田市（人口：約 1 1 万 9 千人、面積：47.42K m²）

対応 半田市議会 澤田 勝議長・久世 孝宏副議長

「議会運営及び議会活性化の取り組み」について

◎事業評価について

H24年にスタート。理由は決算の時に色々質問しても、その後どのようになったかわからない。個人的に言ってもどうにもならない。総合計画の目指して行く姿に対して事業をどのようにしているのか評価してみようということから始まった。

・スケジュール（例）

{6月中旬} 各常任委員会において事業評価の実施及び分科会の設置を確認

{8月上旬} 当局から事務事業評価表の提出

{8月下旬} 議長は選択された個別施策について議員全員に周知

議長から市長宛に事業評価実施について通知

{8月下旬～10月上旬} 常任委員会分科会毎に審査し評価決定

{10月上旬} 議長へ審査結果報告

{10月中旬} 議員総会で確認

{10月中旬} 市長への評価結果の通知

{翌年2月} 市議会だより及び議会ホームページによる公表



◎議員勉強会

H19年度から政務活動費を廃止。そのためH23年度より議会で共通のテーマを設け講師を招いて行ってきた。今年度より政務活動費支給決定。（政務活動費管理委員会の立ち上げ）会派支給ではなく 議員への個人支給である。

◎ICT機器の活用について

掲示できる資料は、質問を補完するデータ、写真等（提出期限は質問前日の正午まで）使用申請書を添えて、映像を保存した記録媒体、もしくはプリントアウトした書面を議長に提出。使用した資料は事務局でプリントアウトし、議会図書室で保管。パソコンの不具合等で復旧に時間を要しても、質問時間の補償なし。1回の本会議で3～4名の議員が活用している。

◎議会報告会

H23.8月からスタート。年4回行う。タイトル「市民と議会の集い」42区長に案内。地域の回覧で案内する。集まりやすい会場選び等工夫を行っているが参加者は伸び悩んでいる。

「新庁舎建設に伴う議会エリア等の整備状況」について

◎新庁舎建設にかかる経緯について

- 昭和 63 年 3 月 半田市新庁舎建設基金条例の設置
平成 16 年 4 月 庁舎整備検討プロジェクトチームの設置
平成 16 年 市議会新庁舎建設特別委員会
平成 18 年 8 月 新庁舎検討委員会設置
平成 18 年 9 月 基本構想(素案に対する市民意見の募集)
平成 19 年 11 月 新庁舎検討委員会報告書及び新庁舎整備基本構想策定
平成 21 年 6 月 市長に榊原純夫氏就任 ※新庁舎建設の方向転換※
平成 22 年 12 月 基本設計完了
平成 23 年 3 月 東北地方太平洋沖地震発生
※市議会付帯決議※建設場所等を改めて再検証する事となる。
平成 23 年 6 月 計画の見直しを発表
平成 24 年 3 月 半田市新庁舎設計見直し案パブリックコメント実施
平成 25 年 6 月 市長に榊原純夫氏再選
平成 26 年 10 月 新庁舎建設工事変更契約締結 物価スライド条例の適用
平成 27 年 6 月 旧庁舎解体工事完了
平成 28 年 1 月 グランドオープン



◎半田市新庁舎整備について

1 新庁舎の概要について

コンセプト「半田の歴史や文化を継承し、市民の命を守る新庁舎」

敷地面積 13,165.90 m² 延べ面積 15,181.03 m²

構造規模 鉄骨造一部鉄筋コンクリート造 (地上 5 階 塔屋 1 階) 免震構造

総額 (設計、本体工事、外構工事、備品購入、引越し費用全て含む)

約 64 億 4,920 万円

2 新庁舎の特徴について

○防災拠点機能

新庁舎建設検討中に、東日本大震災を受け、建設規模、期間財源を見直した。

高潮・津波などで浸水した場合にも機能が維持できるように、エレベーター制御盤を上階に設置。4 階の市長室周辺に防災交通課及び防災対策室を設置して、非常時には災害対策本部の設置対応を行う。執務室は窓に面して配置する事で災害時にも業務が継続ができるように配置。屋外に災害用トイレを設置で



きる排水貯留槽を設置。1階のレストランは非常時の炊き出しも可能に計画。

○市民サービス（ワンストップサービス等）

総合案内を担う担当課は設置なし。1階は窓口課・2階は子ども関連の課を集約。

○市民交流機能

1階エントランス近くに情報コーナーや防災グッズ等の展示を行い、別にある市民交流センターが機能している。

○議会機能

議長席と傍聴席が対面する形、執行部席と議員席が対面する方式（議会側の要望）「傍聴ロビー」「談話室2つ」の設置で市民が議員と談話できるスペースとした。1階及び傍聴ロビーに議員登退庁表示モニターの設置。傍聴席は記者席等も含め76席。

○環境配慮

光庭による自然採光、自然通風、LED照明、屋上の太陽光発電パネル設置。地中採熱、雨水の利用、LCEMの導入



3 市民の評価と課題について

出先機関に分散していた部局が、新庁舎に一元化され便利。窓口がわかりやすく庁内も広く明るい雰囲気です。気持ち良い。

カウンターから職員までの距離が遠くなり声をかけづらくなった。来庁者用駐車場は隣接する半田病院と共同利用のため、利用しづらいとの声もある。

市役所及び病院利用者は1時間以内無料だが超えると料金がかかる。

<所感>

半田市のプロモーションビデオを拝見した時、英語メインで作成されていて、インバウンド政策という意味で参考になった。政務活動費が一時廃止だったため議員勉強会を行い、4年かけて交付まで煮詰めていかれたことを聞いた。当り前ではあるが、政務活動費の情報公開は大切と考える。議会報告会はやはり苦戦しておられた。

新庁舎はスペースもゆったりと作られており、当初の計画金額とは2転3転あったようだが、素晴らしい庁舎にビックリした。

庁舎内のレストランで（一日平均150食稼働）食事をしたが避難所の際の炊き

出しもできるようにしてあるのには感心した。議会フロア部分に関しては吹き抜けの関係で会派の部屋が縦長になり、事務局との距離感が長く、連絡が取りづらいと聞いた。会派室もゆったりしていたが、パソコンは持ち込みらしく、逆に小野市議会では全議員にパソコンがありドメインまで取ってあることに驚かされていた。議場に関しては対面式を要望されたとのことで新鮮にも感じた。しかし、できしてみると気づく部分が多く、賛否を問う場合等議長から議員が見えにくいので、色々工夫をされていた。傍聴に関しては難聴方のためのヘッドイヤホンが設置されていた。傍聴のための手話通訳、託児等は行われていないとのことで検討されているようだ。

応対して頂いた副議長から「市民が使いやすい庁舎であるべき」とのお話も伺った。職員が快適に働くことができる庁舎も大切であり、新庁舎の建設には側面からの意見も貴重となることも感じた。

(2) 滋賀県長浜市 (人口：12万2千人、面積 681.02K m²)

対応 長浜市議会 藤井 繁副議長・轟 保幸議会運営副委員長



「議会運営及び議会活性化への取り組み」について

平成 25 年 9 月議会基本条例制定

◎議会活性化検討委員会 (平成 26 年設置) の活動

議会人を律するのが基本条例であるとの考えから、当局に対しても反問権を認めている。

広報広聴委員会 (平成 27 年設置) が中心になって、「市民の皆さんとの意見交換会」を 3 月・9 月定例会終了後、2 か所ごとにテーマに基づき行っている。(1 市 8 町が合併しているので一番遠い所は片道 30 分かかる。積雪量にしても数センチと数メートルの豪雪地帯もあるため地域によってテーマも違ってくる) 地域づくり協議会や 450 自治会長等全てのチャンネルを使って案内しているし、アンケート等も行っているが参加人数はやはり伸び悩んでいる。

全議員による予算常任委員会の設置 (平成 28 年 9 月定例会より)

I C T 化推進検討チームが担当して平成 28 年度より検討 8 議会でのタブレットの導入については現在検討中)

政策提案と立案の強化等

◎議会運営委員会の充実

規定制定検討

議会終了後の評価会の実施

定例会最終日終了後 質問内容について他の議員との重複は無かったか、他市の事例を出して質問しなかったか、通告以外の質問は無かったか等審議をおこない各会派へ持ち帰る。

◎議場電子採決システム設置・運用

議席でボタンを押すと電光掲示板に即座に表示する。



「新庁舎建設に伴う議会エリア等の整備状況」について

◎新庁舎建設にかかる経緯について

平成 19 年度

新庁舎建設庁内検討委員会・長浜市議会会派代表者会・長浜市庁舎建設のあり方検討会議（市民 48 名）⇒新庁舎建設検討結果中間報告書作成

平成 20～21 年度

新庁舎建設市民ワークショップ（市民 10 名）・長浜市議会調査特別委員会・長浜市庁舎建設のあり方検討委員会（学識経験者・市民代表・市議会議員）⇒新庁舎建設基本構想案の検討

平成 22 年度

庁舎整備準備委員会（副市長・部長級）長浜市議会調査特別委員会・庁舎整備検討委員会（学識経験者・市民代表）⇒新庁舎建設位置の検証・新庁舎建設基本構想原案の策定⇒市長へ報告

◎長浜市新庁舎整備について

1 新庁舎の概要について

コンセプト「まちの中心として、市民が親しみやすい庁舎」「東別館を活用して再生する庁舎」「災害に強い、市民の安全・安心のシンボルとなる庁舎」「環境にやさしい庁舎」

敷地面積 26,196 m² 延べ床面積 18,694 m²（東館 12,968 m²・西館 5,726 m²）

東館（新築）鉄骨造 6 階建（一部 7 階建、塔屋）耐震構造

西館（改修）鉄骨造 6 階建（柱のみ鉄骨鉄筋コンクリート造）耐震構造

建設費については、東日本大震災前に契約を行っていたので、50 億円ほどであったが、60 億円ぐらいはかかるはず。（副議長）

2 新庁舎の特徴について

○外装デザイン

地域固有の歴史文化がまちの中に生きる長浜市のイメージを表現し、色褪せることなく永く市民に愛されるシンボルとして、市庁舎の外観をデザイン。



フロアカラーは長浜の特産品「浜ちりめん」で使用される日本の伝統色を採用している。1F 梅紫、2F 藤色、3F 薄群青、4F 若芽色、5F 山吹茶、6F 山葵色。長浜の象徴的な8つの情景を「新・長浜八景」と称して、庁舎の様々な場所に対応するかたちでの設えを分散的に配置している。

○防災計画・災害対応

災害応急対策活動の拠点施設として位置付けられているため、東日本大震災の経験を活かし徹底したライフラインの2重化で、市庁舎の信頼性を高める。

どのような災害時にも耐えうる建物になっている。災害時には1階を市民に開放する。インフラが寸断されても、様々なバックアップによって機能。屋根付きプロムナードの所には、マンホール型仮設トイレ（7日分対応）の設置。井水の利用。市内を見渡すことのできる「防災塔」は、夜間照明により「常夜灯」として安全安心のシンボルタワーである。（火の見櫓）

○環境配慮

年間CO₂排出総量は、同規模の標準的なグリーン庁舎と比較して約13%、現状の庁舎と比較して24%の削減。（太陽光発電・ハイブリッド外灯・風力外灯・熱吸収の少ない高性能ガラス・雨水の利用等）

○議会機能

60インチモニター（左右4か所）設置、傍聴席64席（16席サイドテーブル）

車椅子スペース（傍聴席出入りに車椅子昇降機を設置）

ヒアリングループ（磁気ループ）傍聴席スペース横に敷設、専用受信機（補聴器・ヘッドホンタイプ）無料貸し出し

各委員会室に2台のカメラを設置し、録画及びインターネット配信、室内の52型液晶ディスプレイに表示

※インターネット配信時にはテロップ文字を合成して配信することが可能。

<所感>

副議長が初めに仰ったのは「簡素で機能的な市役所を建てよう！」

細部にわたって 長浜市らしさというか歴史や伝統もしっかり盛り込まれていて市民に愛される市役所！という感がした。特に自然エネルギーの利用、災害時の市役所機能等、学ぶところが多々あった。また、議場においては議長席後ろのモニュメント、真っ赤な絨毯、高い天井等議場の持つ厳粛さが表れているようにも感じた。電子採決システムは、私達議員も実際に議席に付き採決のボ

タンを押させて頂いたが、大型画面で即座にわかり、賛否の数も集計されるというもので最新の設備に感心した。託児や手話通訳などは行われていないとのことだが「ヒアリンググループ」は是非小野市でも傍聴席床に敷きたいと思う。



些細な事かも知れないが、半田市役所のトイレは便器の高さが通常より少し高く設置してあった。長浜市役所の便器は高さは通常だったが蓋が無かった。トイレ1つとっても様々であるように新庁舎を見せて頂くたびに「コンセプト」をどのように表現した建物にしていくか！難しくもあり楽しみな部分もあると感じた。特に議場に関しても今回の視察で勉強したことが1つでも多く生かされて行くようにしたいと思う。

平成 28年 8月 9日

小野市議会議長
岡嶋正昭様

議会運営委員会
岡嶋正昭 印

行政視察報告書

先般、実施しました 議会運営委員会 行政視察の結果について、下記のとおり報告いたします。

記

1 視察実施日 平成28年 7月25日(月)～平成28年 7月26日(火)

2 視察メンバー

小林千津子委員長 加島 淳副委員長 山中 修己委員 川名 善三委員
高坂 純子委員 岡嶋 正昭以上6名

3 視察先及び調査内容

- (1) 愛知県半田市 (人口:約 11万9千人、面積: 47.42Km²)
議会運営及び議会活性化の取組について
新庁舎建設に伴う議会エリア等の整備状況について
- (2) 滋賀県長浜市 (人口:約 12万2千人、面積: 681.02Km²)
議会運営及び議会活性化の取組について
新庁舎建設に伴う議会エリア等の整備状況について

4 調査結果

【第1日】愛知県半田市

人口:約 11万9千人、面積: 47.42Km²

≪視察項目≫

議会運営及び議会活性化の取組について
新庁舎建設に伴う議会エリア等の整備状況について

《視察内容》

議会運営及び議会活性化の取組について

常任委員会

それぞれの常任委員会（総務・文教厚生・建設産業・議会運営）毎に、閉会中の調査事項を当局側と協議し、調査・研究に取り組む。

事業評価

- ・ 8月上旬に当局から、事務事業評価表の提出。
- ・ 8月下旬～10月上旬 選定した個別施策の審査。その後、議長に報告。
- ・ 10月中旬市長への評価結果の通知。（市長から総合評価）
予算編成への反映状況等について報告。
市長から総合計画評価結果への対応について報告を受ける。
⇒ 市議会だよりへの掲載及び議会ホームページによる公表。



ICT機器活用について

ICT技術の発達は著しく、議会においても情報関連機器の活用は「市民に開かれた議会」「市民に分かりやすい議会」をより一層充実させることに繋ぐことができる。

◆議会における補足映像の活用（本会議以外の会議における補足映像の活用）

◆パソコン等の活用

タブレット端末の使用については検討中。

議会報告会

議会基本条例制定により、平成23年8月より実施。（年2回を目途に開催。）
報告会の準備は全て議員が行う。
報告会への参加は、決まった方の参加が多く課題です。

新庁舎建設について



- 敷地面積 : 13,165.90㎡
- 述べ床面積 : 15,181.03㎡
- 構造規模 : 鉄筋造一部鉄骨鉄筋コンクリート造（地上5階、塔屋1階）
- 建設総額 : 約64億4,920万円
- 計画コンセプトは、「半田の歴史や文化を継承し、市民の命を守る新庁舎」
「現在の蔵」と位置づけ、「緑の運河」「市民

広場」を整備。

セキュリティに配慮し、環境にやさしい庁舎としている。

○ 防災機能

- ・地盤を2.5mかさ上げし、1階床レベルを想定される津波の最大の高さに対応。
- ・防災拠点機能として、4階の市長室周辺に防災交通課、災害対策室を設置。
(会議システム、音響・映像システム、J-ALERT、防災無線端末、半田市航空写真、ホワイトボード等を設置)

○ 議会機能

- ・議長席と傍聴席を相対する形で配慮。
- ・執行部席と議員席が演台を挟んで対面する英国方式。
- ・本会議の状況は、議会会議室、全員協議会室、委員会室のスクリーン・テレビでの可視化。
- ・傍聴ロビー設置。市民の方と議員が気軽に談話出来るスペースを確保。
- ・傍聴席は、記者席、車いす席、同補助者席を含め76席。

《所 感》

議会活動として、各常任委員会における閉会中の調査事項(主な調査テーマ)を決め、これらを主としての研究に取組み、1年を通しての議員勉強会の開催が行われている。またこれらの活動からして更なる議員個人での勉強が必要なことから、平成28年度から政務活動費として年間15万円を予算化されている。半田市議会の議員活動の必要性を十分に認識され勉強会に、研修にと取組まれている姿勢を強く感じたところです。

一方、新庁舎建設に伴い議場は、英国式の対面方式を採用され対面での質疑、一般質問が行われており、新鮮さを強く感じられました。また議会会議室、全員協議会室、議会応接室、傍聴ロビーそして会派室がそれぞれに設けられている。一部の部屋はパーティションで稼働が可能。五階のワンフロアを議会関係フロアとして設置されているため十分にスペースが提供できている。非常にゆったりとした間取り、部屋の設置等立派な庁舎でありました。

【第2日】滋賀県長浜市

人口：約 12万2千人、 面積： 681.02 Km²

《視察項目》

議会運営及び議会活性化の取組について
新庁舎建設に伴う議会エリア等の整備状況
について

《視察内容》

議会活性化検討委員会の活動



- ・ 広報公聴委員会の設置（平成27年9月から）
議会だより編集委員会と意見交換会作業部会を統合し、さらに議会の広報公聴機能の充実を図るため（平成28年9月から）
- ・ 予算常任委員会の設置
議案不可分の原則に則り、全議員を委員とする予算常任委員会を設置する
- ・ ICT化の推進（平成28年度から継続して検討）
ICT化推進検討チームによる調査・研究を踏まえ議会運営委員会で検討
- ・ BCP（事業継続計画）の策定（平成28年度中に策定）
災害時における議会運営の在り方や機能の維持について計画を策定

改革すべき事項を【短期検討内容】【中期検討内容】に分類し

短期では、①全員協議会の内容充実 ②予算決算常任委員会の設置検討 ③議会運営委員会の充実 ④広報公聴委員会の設置 ⑤開かれた議会、公平、公正、透明な議会運営について検討 ⑥政策提案と立案強化等

中期では、①通年議会の導入検討 ②倫理条例の再検討 ③議員定数及び議員報酬等の検討



○ 議会施設機能について（新庁舎）

- ・ 庁舎6階を議会フロアとして活用
- ・ 形状は対面式、議員席は26席、執行部席は20席、事務局4席、傍聴席64席、報道4席、ヒアリングループ（磁気ループ）補聴システムを設置
- ・ 60インチモニター設置（左右4ヶ所）

他に、会議室3、委員会室（パーティションで分割

使用可・ネット中継可）正副議長室（同室）、議会図書館、会派室（構成人数により広さは様々）

《所 感》

取組の中で特に印象に残ったのは、「各定例議会終了後の評価会の実施」と「一般質問の在り方等再確認」をされていることです。市民を代表して質問をするのですが、市長への質問の在り方について検討され次の機会に反映できるよう、その後各会派での検討も行われている。全体でのバランスも考えての取組であり、議員個人の飛躍についての方法として一考すべき点です。

又、新庁舎については、駐車場の整備で身障者用が屋根付きの駐車場としての整備。各通路にも屋根が付けられており、当日が雨もようでもあり非常にありがたいものでした。議会設備については、6階フロアが全て議会関係の施設として整備されており、十二分

に余裕のある間取りとなり素晴らしい施設であった。ただし広すぎる感もあり弱冠使いつらい部分もあるようでした。

西館が旧の病院の建物を再利用し改修建築で、東館が新築になります。

工事契約も熊本地震の前に締結とのことで、その後の状況からして2～3割程度安く建設できたとの事です。最上階が議会関係のスペースであり、非常にゆったりとしたスペースが設けられており少し羨ましい感もありました。

両市共庁舎内の案内をお願いし、議場や会議室・控室・事務室等々ゆとりのある空間を確保されており立派な構造となっていました。控室においては各自の作業スペース（個人用の机）は有るがパソコンの設置がなく両市共個人でのパソコンを活用するようになっている。セキュリティ等の関係からしても当市での各自に一台ずつの設置は非常にありがたい措置でありました。